

事業所における自己評価結果

公表

事業所名		発達支援さくらボViitta				公表日	2026年 2月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境制・整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の支援やイベント等で本人の様子、モニタリングを通して、PDCAを回しながら、支援内容の充実をはかりたいと考えている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様のニーズや意見等を踏まえて、支援内容を検討している。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		各職員の意見等を適切に反映させ、業務改善につなげていけるように努めている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		訪問支援に特化した研修がないため、外部研修の受講も含め検討していく	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修については、積極的に参加を促し、法人からの助成も行っている。		
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		アセスメントについては、子どもや保護者のニーズ等を客観的に分析し、その上で、個別支援計画を策定している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者、管理者、直接支援する職員と相談しながら、支援計画の立案を行っている。		
適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		支援開始前、訪問後に必ず面談や電話で情報共有する機会を設けている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画策定の段階で、各職員には共有している。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達段階に合わせたスキルリストを参考にアセスメントしている。	標準化されたツールを使用していないので、今後検討していきたいと考えている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各項目の内容を踏まえながら、個別支援計画を作成しているが、今後もさらに具体的な内容となるように計画内容の見直しを継続していきたいと考えている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画策定の段階で、各職員には共有している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、ホワイトボードを活用して朝礼を行い、その日の活動内容等、役割分担等の確認について、職員間で確認している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に、情報共有をした上で記録をしている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や方針を尊重した上で支援を行なっている。改善が必要な場合にも、訪問先のニーズに即した形で助言を行うよう気をつけている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		支援終了後に、情報共有をした上で記録をしている。		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援終了後、当日中に保護者と訪問先にフィードバックを行い、次回の予定について確認している。定期的な見直しも行っている。		
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議には、児童発達支援管理責任者等が参加している。		
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	行政保健部門、医療機関での就業経験のある職員により、感染動向などの把握には努めている。	地域の保健、医療機関等との連携は、まだおこなえていない。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現段階で移行された方がいないが、対象者がいた場合には、進学先との情報共有を進めていく。		

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修については、積極的に参加を促し、法人からの助成も行っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		会議には、児童発達支援管理責任者等が参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		公式アカウントや連絡帳を活用して、保護者と情報共有を行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			次年度は保護者研修や交流会を企画している。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、重要事項説明書等の読み合わせをするなど詳細を説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		保護者からの同意が得られた段階で、事前に訪問先施設に赴き、説明を行なっている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用前には、本人や保護者様の意向を聴取している。また個別支援計画には、こどもの最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者に確認、了承を得たうえで、利用を開始してもらっている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		利用前には、本人や保護者様の意向を聴取している。また個別支援計画には、こどもの最善の利益を優先しながら作成し、内容を保護者に確認、了承を得たうえで、利用を開始してもらっている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援の一環として、適宜、お困りごとに対して、面談等を実施し支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			次年度は保護者研修や交流会を企画している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		家族支援の一環として、適宜、お困りごとに対して、面談等を実施し支援を行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		イベント等は各保護者へ個別に情報発信している。また、日々の支援内容等については、公式アカウントや連絡帳を活用し、写真送付を含めて発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真の送付時には、他のこどもが写らないよう掛けている。また個人情報の書類は、外部への持ち出しを禁止し留意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		適宜、こどもの意見を傾聴し、意思への配慮を実施している。また保護者とは、SNS、電話、面談等を通じて情報交換と共有を実施している。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		支援終了後、訪問先にフィードバックを行い、次回の予定について確認している。訪問前にも連絡をして情報共有を図っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		支援終了後、当日中に訪問先にフィードバックを行い、次回の予定について確認している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		支援終了後、当日中に保護者にフィードバックを行い、次回の予定について確認している。連絡帳により支援内容を共有している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真の送付時には、他のこどもが写らないよう掛けている。また個人情報の書類は、外部への持ち出しを禁止し留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の理念や方針を尊重した上で支援を行なっている。改善が必要な場合にも、訪問先のニーズに即した形で助言を行うよう気をつけている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは作成し、計画的に訓練を実施している。また、防災センターへの見学等、施設外での体験も実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は、HPに掲載しており、計画に基づいて各種訓練や点検等を実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット用の報告書をファイルにまとめて、いつでも閲覧できるようにしている。また、ヒヤリハットが発生した時には、各職員へ情報共有し共有化を図り、事故防止につなげている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に、虐待防止研修等を開催し、虐待防止対策を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員には、定期的に身体拘束の研修を開催し、実施する場合の原則を周知している。身体拘束報告書をファイルにまとめて、いつでも閲覧できるようにしている。	